

令和6年度 杜の都のエコ・スクール活動報告書

学校番号	54	学校名	仙台市立燕沢小学校	校長名	佐々木 祐二
------	----	-----	-----------	-----	--------

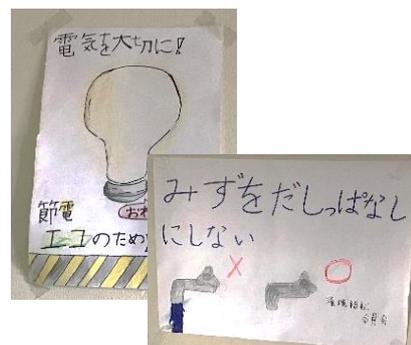
1 取組のタイトル、テーマ 「つば小エコ活動」



2 取組の紹介

(1) 日常的な取組み

各教室にあるゴミ箱は、段ボールをリサイクルして作られています。「紙」「ストロー」「よごれたビニール」などは「燃えるごみ」, 「ストローの袋」「汚れていないビニール袋」などは「プラごみ」のように、分別の仕方を分かりやすく表示し、色分けし視覚的に分かるように設置することで、進んでゴミを分別できるようにしています。学校全体のごみが集まる集積所にも、自分たちで考えて捨てられるように、分かりやすく表示をしています。また、職員室でも同じ様に掲示をして、教員も率先して分別するよう取り組んでいます。



(2) 委員会での取組み

環境・福祉委員会が中心となり、以下のような取組みを行いました。

① 節水・節電の呼び掛け

教室を空ける際に電気を消すこと、手洗い場やトイレでは水を大切に使うことを呼び掛けています。みんなに気付いてもらえるよう、貼る場所や見やすさも考えて作成しました。

② ごみ集積所の使い方・ごみの捨て方について伝える

全校児童が気持ちよく使えるようにとの願いから、「こぼれたごみは片づける」、「ごみを小さくして出す」ことを伝える動画を作成し、校内放送で知らせました。

③ プランターへの植栽

見る人の気持ちが明るくなるよう自分たちで植物を選んで植え、水やりや草取りなどに取組みました。欠かさずに水やりをして子供たちが植物を大切にすることが表れていました。

(3) PTA除草作業

8月にPTAで校庭の除草活動を行いました。児童・家庭・先生が一緒になって校庭の除草作業を行いました。一人一人の力で心地よく過ごせる学校を作ろうと協力しています。

3 取組の成果（児童生徒の変容）

ごみの分別や捨て方を考えることで、正しく分別し、きれいにごみ集積所を使う児童が増えました。また、委員会ではそもそもごみを減らさないといけないという意見もありました。これからも自分たちの問題として捉え、学校や家庭でできる小さな取組から実践できるようにしていきます。